

視力1.0未満の子どもの割合が幼稚園で過去最高を更新(31.2%)

令和4年度 学校保健統計調査結果 (香川県分)

文部科学省から公表された令和4年度 学校保健統計調査結果のうち、香川県分をまとめたものです。

□ 調査の概要

学校保健統計調査は、幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の発育及び健康の状態を明らかにするために、昭和23年度から毎年実施されている基幹統計調査です。

文部科学大臣が指定（抽出）した県内149校（幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む。以下同様）、小学校、中学校、高等学校）に在籍する5歳から17歳（令和4年4月1日現在の満年齢）までの児童等を対象に、令和4年4月～令和5年3月に行われた健康診断の結果をもとに調査を実施したものです。

□ 調査結果の概要

◆発育状態調査

◇身長（2ページの表1）

- ・前年度と比較すると、男子は6～8, 10, 12～16歳で、女子は6, 7, 9, 11, 14, 16, 17歳で前年度を上回っている。
- ・全国平均と比較すると、男子の6, 15歳を除いた全ての年齢で全国平均を下回っている。

◇体重（4ページの表2）

- ・前年度と比較すると、男子は6～9, 12～16歳で、女子は6, 7, 9, 10, 16, 17歳で前年度を上回っている。
- ・全国平均と比較すると、男子は6, 8, 12～17歳、女子は7, 12～16歳で全国平均を上回っている。

◇肥満傾向児（肥満度が20%以上の者）の出現率（6ページの表3）

- ・前年度と比較すると、男子は6～9, 12～14, 16, 17歳、女子は5, 6, 9, 10, 12, 13, 15, 17歳で前年度を上回っている。
- ・全国平均と比較すると、男子は5～7, 9, 12, 14～17歳、女子は5～7, 9, 10, 12～15, 17歳で全国平均を上回っている。

◆健康状態調査（11ページの表7）

◇裸眼視力1.0未満の者

- ・前年度と比較すると、小学校では前年度を下回っているが、幼稚園、中学校、高等学校では上回っている。幼稚園については、昭和54年度の裸眼視力に関する調査開始以降（ただし、昭和54～56年度と平成5・15年度は不明）、最も高い数値（31.2%）となった。
- ・全国平均と比較すると、小学校では全国平均を下回っているが、幼稚園、中学校、高等学校では上回っている。

◇むし歯（う歯）のある者（処置完了者を含む）

- ・前年度と比較すると、幼稚園、小学校、中学校で前年度を下回っているが（改善）、高等学校では上回っている（悪化）。
- ・全国平均と比較すると、全ての学校種で全国平均を上回っている。

□ 調査対象

区 分	全学校数 (校)	うち調査対象校		全在籍者数 (人)	うち調査対象者				
		実数 (校)	割合 (%)		発育状態		健康状態		
					実数 (人)	割合 (%)	実数 (人)	割合 (%)	
合 計	452	149	33.0	102,791	12,700	12.4	64,017	62.3	
内 訳	幼 稚 園	188	31	16.5	5,087	937	18.4	1,214	23.9
	小 学 校	153	57	37.3	48,312	5,399	11.2	28,128	58.2
	中 学 校	71	37	52.1	25,469	4,209	16.5	18,053	70.9
	高 等 学 校	40	24	60.0	23,923	2,155	9.0	16,622	69.5

※発育状態は、調査対象校の該当年齢の無作為抽出児童等が対象で、健康状態は、調査対象校の該当年齢の全児童等が対象である。
※学校数は、学校基本調査結果による。ただし、休校を除く。

■ 発育状態調査

【身長】

身長（平均値）を前年度と比較すると、男子は6～8, 10, 12～16歳で、女子は6, 7, 9, 11, 14, 16, 17歳で前年度を上回っている。（表1）

全国平均と比較すると、男子の6, 15歳を除いた全ての年齢で全国平均を下回っている。（表1、図1）

各年齢間の身長差をみると、男子は11～12歳の間が8.5cm、女子は10～11歳の間が7.3cmと最も大きくなっている。（図2）

30年前（親の世代）の平成4年度と比較すると、男子は6～8, 10～15歳で、女子は7～13歳で親の世代の値を上回っており、特に男子の13歳で2.4cm、女子の9歳で2.1cmと最も伸びている。（表1、図3）

表1 年齢別身長の平均値

区分		男 子										女 子						
		令和4年度					平成4年度					令和4年度					平成4年度	
		香川県		全国			香川県		香川県			全国		香川県		香川県		
		A	対前年度差	B	A-B	順位	C	A-C	A	対前年度差	B	A-B	順位	C	A-C			
幼稚園	5歳	110.0	△ 0.8	111.1	△ 1.1	47	110.8	△ 0.8	109.6	△ 0.3	110.2	△ 0.6	44	109.9	△ 0.3			
小学校	6歳	117.2	1.1	117.0	0.2	13	116.2	1.0	115.6	0.1	116.0	△ 0.4	38	116.0	△ 0.4			
	7歳	122.4	0.1	122.9	△ 0.5	38	122.3	0.1	121.8	0.3	122.0	△ 0.2	25	121.2	0.6			
	8歳	128.3	0.1	128.5	△ 0.2	30	127.8	0.5	127.7	0.0	128.1	△ 0.4	32	127.0	0.7			
	9歳	133.2	△ 0.1	133.9	△ 0.7	44	133.2	0.0	134.4	0.9	134.5	△ 0.1	24	132.3	2.1			
	10歳	138.8	0.4	139.7	△ 0.9	40	138.7	0.1	140.3	△ 0.4	141.4	△ 1.1	43	139.1	1.2			
	11歳	145.1	△ 0.7	146.1	△ 1.0	44	144.3	0.8	147.6	0.7	147.9	△ 0.3	30	145.9	1.7			
中学校	12歳	153.6	0.9	154.0	△ 0.4	30	151.3	2.3	151.6	△ 0.2	152.2	△ 0.6	39	151.1	0.5			
	13歳	160.7	0.7	160.9	△ 0.2	26	158.3	2.4	154.3	△ 0.1	154.9	△ 0.6	37	154.2	0.1			
	14歳	165.2	0.8	165.8	△ 0.6	38	164.1	1.1	156.0	0.2	156.5	△ 0.5	40	156.2	△ 0.2			
高等学校	15歳	168.7	0.3	168.6	0.1	17	167.9	0.8	156.6	△ 0.2	157.2	△ 0.6	37	156.9	△ 0.3			
	16歳	169.2	0.1	169.9	△ 0.7	40	169.4	△ 0.2	157.3	0.6	157.7	△ 0.4	31	157.8	△ 0.5			
	17歳	170.1	△ 0.3	170.7	△ 0.6	40	170.1	0.0	157.3	0.2	158.0	△ 0.7	37	157.5	△ 0.2			

（注） は、全国平均を上回るものを示す。

図1 身長の全国平均値との差

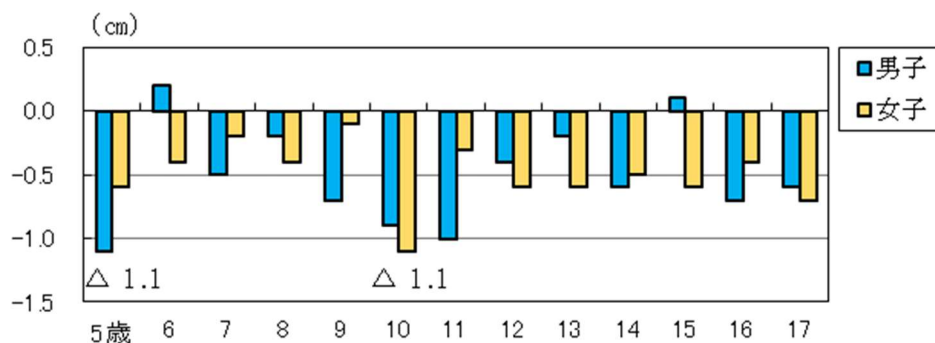


図2 各年齢間の身長差

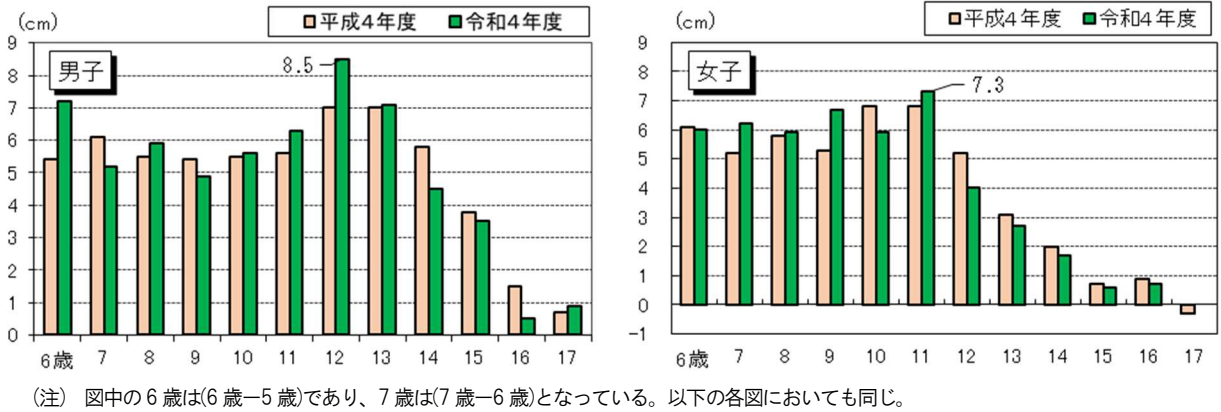
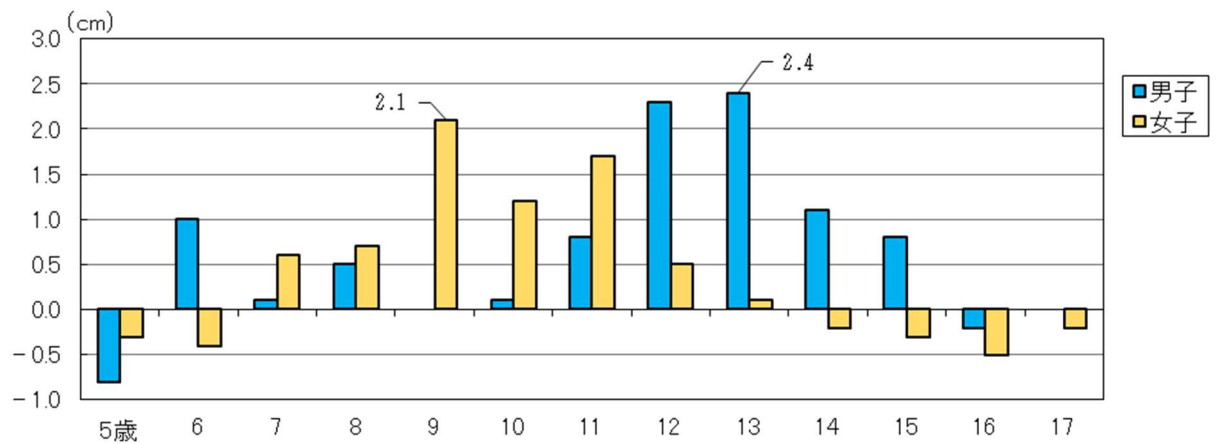
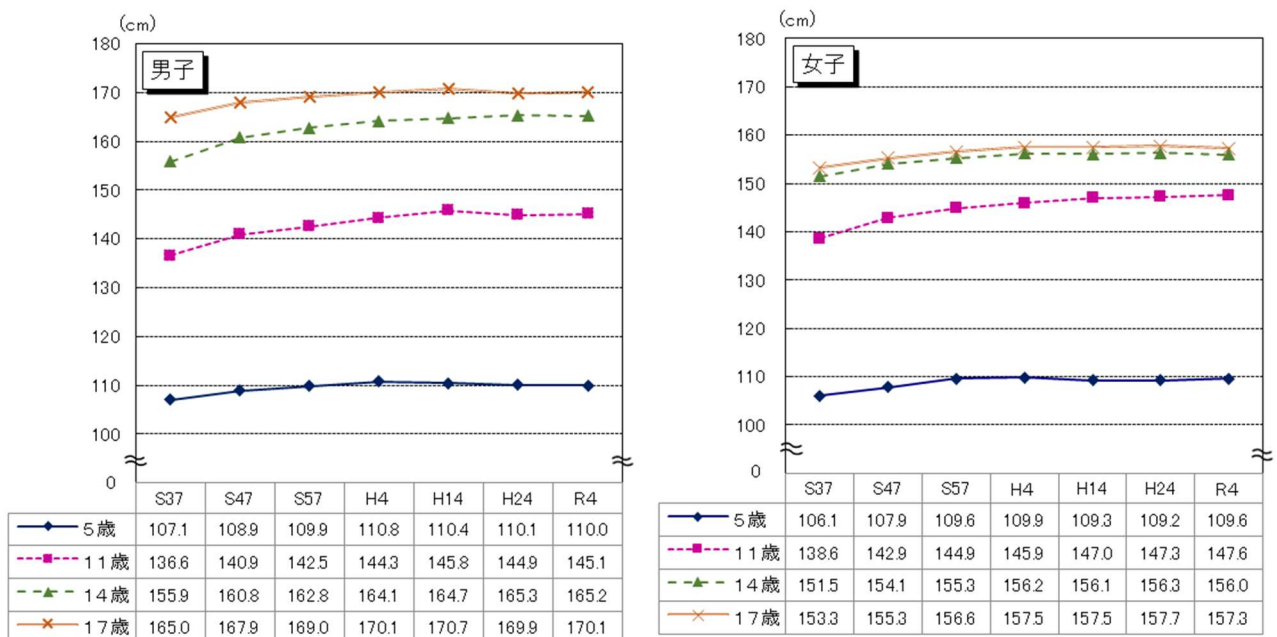


図3 30年前(親の世代)との身長差(令和4年度-平成4年度)



各学校段階の最高学年の身長について、60年間の推移を10年ごとにみると、男子の最高値は5歳が平成4年度、11、17歳が平成14年度、14歳が平成24年度となっており、女子の最高値は5歳が平成4年度、11歳が令和4年度、14、17歳が平成24年度となっている。(図4)

図4 身長の平均値の推移(昭和37年度~令和4年度の10年間隔)



【体 重】

体重（平均値）を前年度と比較すると、男子は6～9、12～16歳で、女子は6、7、9、10、16、17歳で前年度を上回っている。（表2）

全国平均と比較すると、男子は6、8、12～17歳、女子は7、12～16歳で全国平均を上回っている。（表2、図5）

各年齢間の体重差をみると、男子は11～12歳の間が6.5kg、女子は10～11歳の間が5.0kgと最も大きくなっている。（図6）

30年前（親の世代）の平成4年度と比較すると、男子は5歳を除いた全ての年齢で、女子は6～12歳で親の世代の値を上回っており、特に男子の13歳で1.8kg、女子の9歳で1.4kgと最も増加している。（表2、図7）

表2 年齢別体重の平均値

(kg)

区 分		男 子						女 子							
		令和4年度			平成4年度			令和4年度			平成4年度				
		香川県		全国	香川県		全国	香川県		全国	香川県		全国		
		A	対前年度差	B	A-B	順位	C	A-C	A	対前年度差	B	A-B	順位	C	A-C
幼稚園	5歳	18.9	△ 0.5	19.3	△ 0.4	46	19.6	△ 0.7	18.9	△ 0.2	19.0	△ 0.1	22	19.1	△ 0.2
小学校	6歳	22.0	0.8	21.8	0.2	10	21.4	0.6	21.3	0.1	21.3	0.0	21	21.2	0.1
	7歳	24.4	0.1	24.6	△ 0.2	31	24.2	0.2	24.1	0.2	24.0	0.1	17	23.6	0.5
	8歳	28.2	0.6	28.0	0.2	14	27.0	1.2	27.0	△ 0.1	27.3	△ 0.3	34	26.5	0.5
	9歳	31.2	0.5	31.5	△ 0.3	35	30.4	0.8	31.1	0.8	31.1	0.0	26	29.7	1.4
	10歳	34.4	△ 0.2	35.7	△ 1.3	46	34.3	0.1	35.0	0.1	35.5	△ 0.5	34	34.2	0.8
	11歳	39.3	△ 0.3	40.0	△ 0.7	40	38.5	0.8	40.0	△ 0.2	40.5	△ 0.5	35	38.7	1.3
中学校	12歳	45.8	1.2	45.7	0.1	21	44.5	1.3	44.6	△ 0.1	44.5	0.1	25	44.4	0.2
	13歳	50.9	0.9	50.6	0.3	18	49.1	1.8	47.8	△ 0.1	47.7	0.1	19	48.1	△ 0.3
	14歳	55.8	1.7	55.0	0.8	12	54.1	1.7	50.0	△ 0.6	49.9	0.1	26	50.8	△ 0.8
高等学校	15歳	60.5	0.2	59.1	1.4	6	59.8	0.7	52.3	△ 0.1	51.2	1.1	7	52.6	△ 0.3
	16歳	61.5	0.7	60.7	0.8	9	61.0	0.5	52.6	0.7	52.1	0.5	12	53.6	△ 1.0
	17歳	63.1	0.0	62.5	0.6	20	62.5	0.6	52.2	0.2	52.5	△ 0.3	31	52.9	△ 0.7

(注) は、全国平均を上回るものを示す。

図5 体重の全国平均値との差

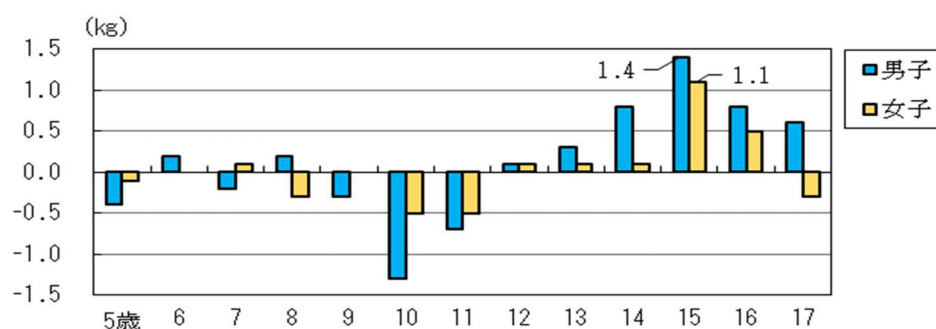


図6 各年齢間の体重差

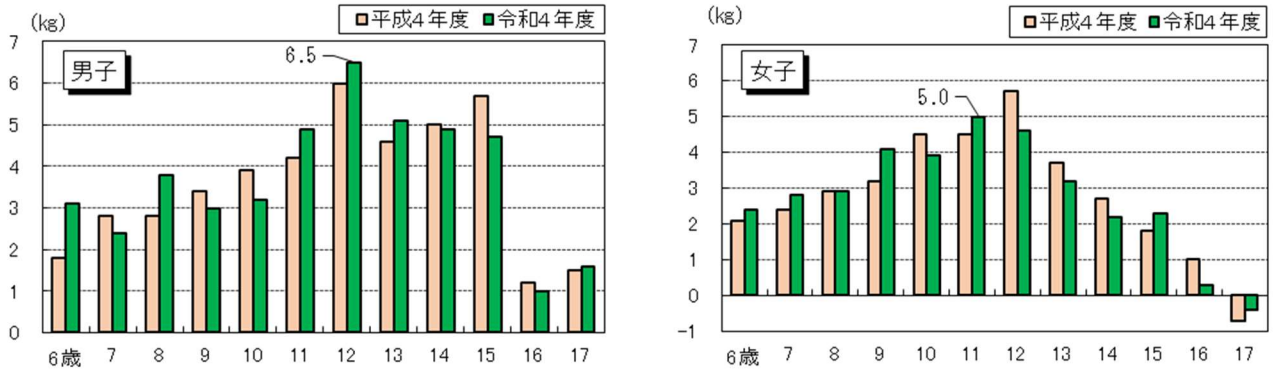
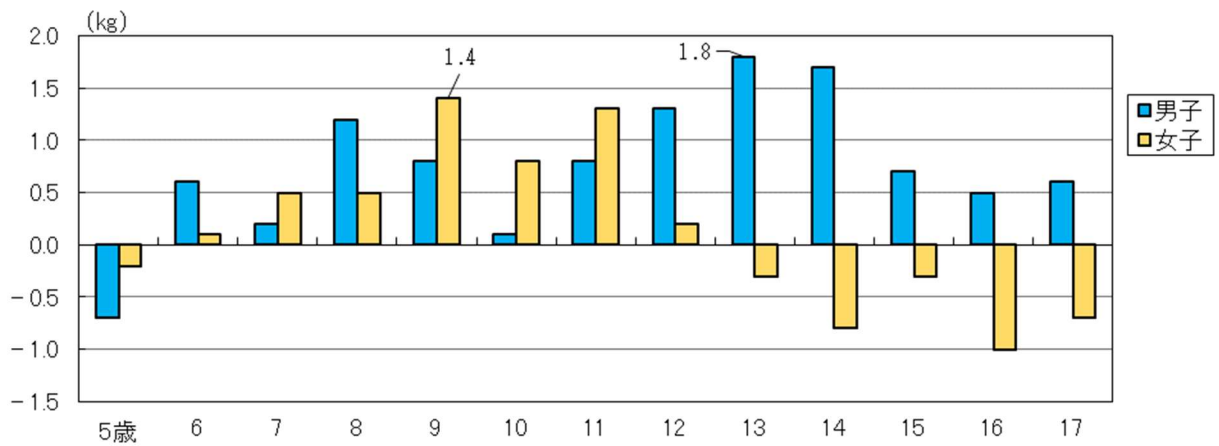
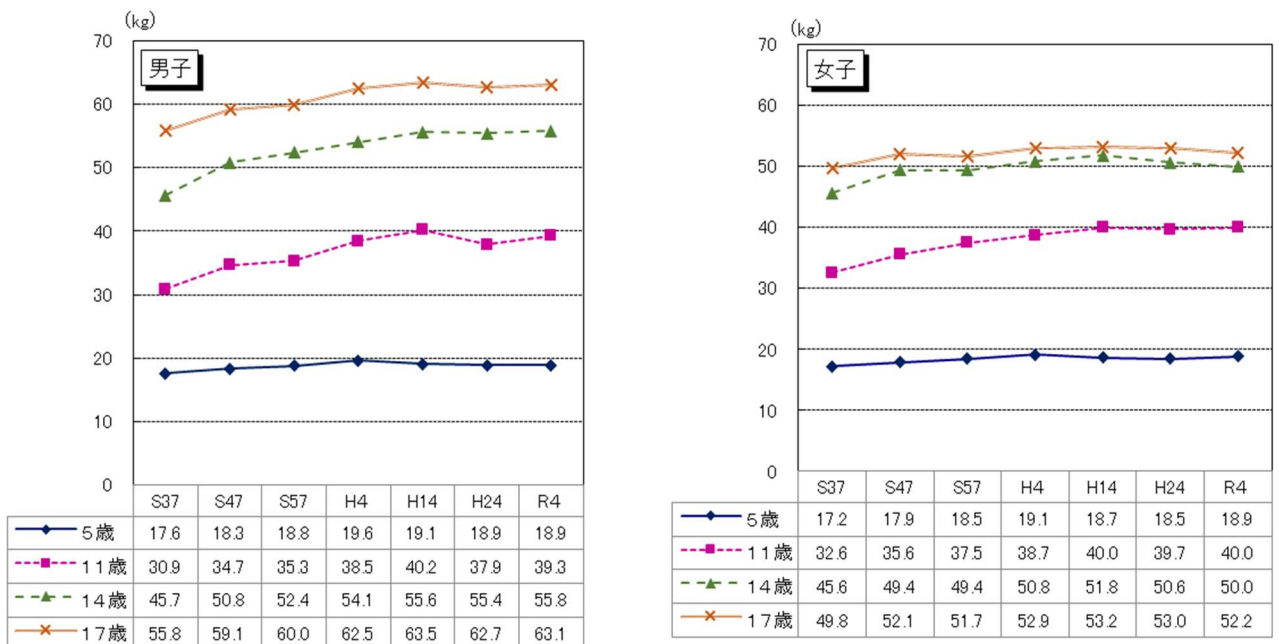


図7 30年前（親の世代）との体重差（令和4年度－平成4年度）



各学校段階の最高学年の体重について、60年間の推移を10年ごとにみると、男子の最高値は5歳が平成4年度、11, 17歳が平成14年度、14歳が令和4年度となっており、女子の最高値は5歳が平成4年度、11歳が平成14年度と令和4年度、14, 17歳が平成14年度となっている。(図8)

図8 体重の平均値の推移（昭和37年度～令和4年度の10年間隔）



【肥満傾向児の出現率】

肥満傾向児の出現率を前年度と比較すると、男子は6～9, 12～14, 16, 17歳、女子は5, 6, 9, 10, 12, 13, 15, 17歳で前年度を上回っている。全国平均と比較すると、男子は5～7, 9, 12, 14～17歳、女子は5～7, 9, 10, 12～15, 17歳で全国平均を上回っている。(表3)

各年齢別の出現率をみると、男子が12歳で14.21%、女子が15歳で14.06%と最も高くなっている。(表3、図9)

表3 肥満傾向児の出現率

区分		計					男子					女子				
		香川県 A	対前年度差	全国 B	A-B	順位	香川県 A	対前年度差	全国 B	A-B	順位	香川県 A	対前年度差	全国 B	A-B	順位
幼稚園	5歳	4.45	0.95	3.64	0.81	15	3.63	△ 0.45	3.56	0.07	23	5.30	2.41	3.73	1.57	7
小学校	6歳	7.20	1.73	5.62	1.58	11	6.53	2.52	5.74	0.79	18	7.91	0.90	5.50	2.41	8
	7歳	8.26	0.01	7.63	0.63	18	8.32	0.29	8.02	0.30	22	8.19	△ 0.30	7.23	0.96	17
	8歳	9.03	0.23	10.13	△ 1.10	35	10.19	0.59	11.14	△ 0.95	32	7.81	△ 0.16	9.07	△ 1.26	38
	9歳	11.78	1.90	11.41	0.37	25	13.74	3.31	13.17	0.57	23	9.74	0.43	9.57	0.17	28
	10歳	10.56	△ 0.10	12.48	△ 1.92	43	9.36	△ 3.85	15.11	△ 5.75	47	11.82	3.91	9.74	2.08	15
	11歳	10.15	△ 2.61	12.25	△ 2.10	44	10.54	△ 2.55	13.95	△ 3.41	45	9.74	△ 2.68	10.47	△ 0.73	38
中学校	12歳	12.61	1.81	11.43	1.18	20	14.21	2.91	13.27	0.94	19	10.94	0.66	9.51	1.43	20
	13歳	10.80	0.51	10.68	0.12	25	12.12	0.96	12.25	△ 0.13	27	9.41	0.04	9.05	0.36	24
	14歳	9.72	△ 0.78	9.55	0.17	23	11.56	0.81	11.31	0.25	22	7.79	△ 2.45	7.71	0.08	29
高等学校	15歳	13.85	2.84	10.13	3.72	3	13.64	△ 0.19	12.51	1.13	20	14.06	5.78	7.68	6.38	2
	16歳	9.67	2.23	9.09	0.58	16	12.72	5.01	11.13	1.59	12	6.72	△ 0.45	6.98	△ 0.26	29
	17歳	10.36	1.92	9.46	0.90	21	12.01	2.88	11.42	0.59	22	8.67	0.94	7.45	1.22	19

(注) 1 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。
 2 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)
 △は、全国平均を上回るものを示す。

図9 肥満傾向児の年齢別出現率

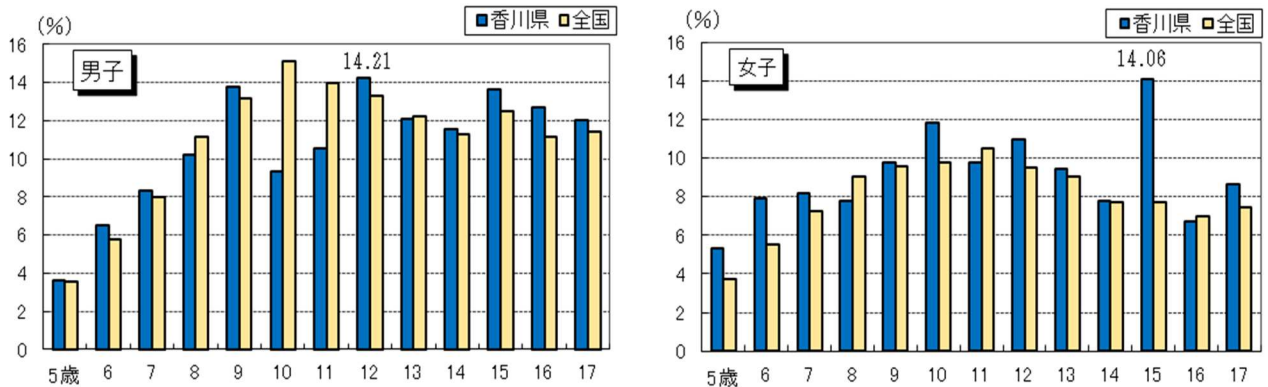
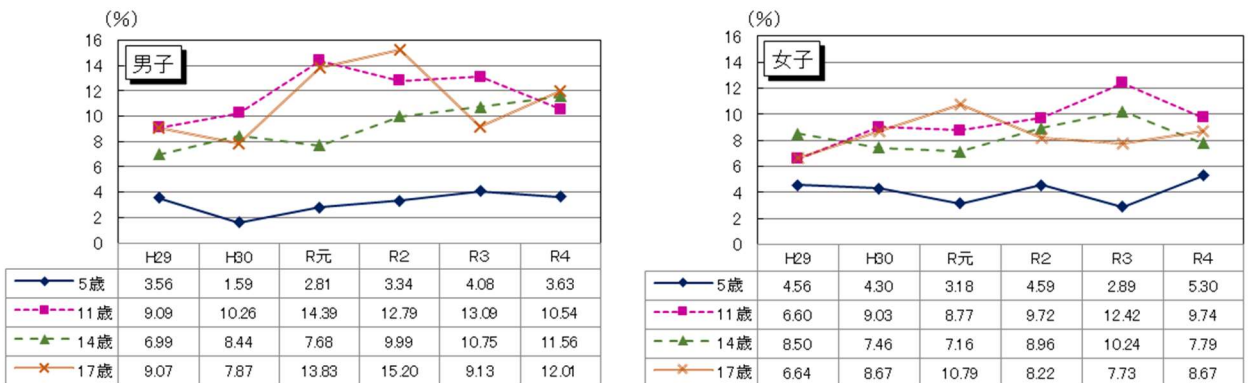


図10 肥満傾向児の出現率の推移



【痩身傾向児の出現率】

痩身傾向児の出現率を前年度と比較すると、男子は5～7, 10～12, 15, 16歳で、女子は5, 7, 10, 11, 14～16歳で前年度を上回っている。全国平均と比較すると、男子は5, 6, 8, 10, 15歳で、女子は8, 11, 16歳で全国平均を上回っている。(表4)

各年齢別の出現率をみると、男子は15歳で5.34%、女子は11歳で3.33%と最も高くなっている。(表4、図11)

表4 痩身傾向児の出現率

(%) , (ポイント)

区分	年齢	計					男子					女子				
		香川県 A	対前年度差	全国 B	A-B	順位	香川県 A	対前年度差	全国 B	A-B	順位	香川県 A	対前年度差	全国 B	A-B	順位
幼稚園	5歳	0.22	0.13	0.19	0.03	16	0.22	0.22	0.15	0.07	13	0.21	0.03	0.23	△ 0.02	22
小学校	6歳	0.44	0.00	0.36	0.08	17	0.65	0.12	0.28	0.37	3	0.21	△ 0.13	0.44	△ 0.23	35
	7歳	0.21	0.14	0.44	△ 0.23	37	0.22	0.08	0.41	△ 0.19	28	0.20	0.20	0.46	△ 0.26	37
	8歳	1.17	△ 0.18	0.79	0.38	8	1.27	△ 0.25	0.58	0.69	4	1.07	△ 0.11	1.01	0.06	20
	9歳	0.99	△ 0.38	1.64	△ 0.65	34	0.62	△ 0.04	1.41	△ 0.79	44	1.37	△ 0.76	1.87	△ 0.50	27
	10歳	2.16	1.00	2.44	△ 0.28	25	2.75	1.86	2.36	0.39	11	1.54	0.10	2.53	△ 0.99	36
	11歳	2.72	0.70	2.66	0.06	22	2.15	0.25	2.91	△ 0.76	34	3.33	1.20	2.40	0.93	7
中学校	12歳	2.26	0.30	3.53	△ 1.27	42	1.86	0.57	3.21	△ 1.35	40	2.68	0.00	3.85	△ 1.17	36
	13歳	1.47	△ 0.42	2.93	△ 1.46	47	1.24	△ 0.81	2.59	△ 1.35	47	1.70	△ 0.02	3.28	△ 1.58	47
	14歳	1.36	△ 0.12	2.97	△ 1.61	46	0.73	△ 1.16	2.87	△ 2.14	47	2.03	0.96	3.09	△ 1.06	40
高等学校	15歳	3.62	1.75	3.79	△ 0.17	20	5.34	2.94	4.43	0.91	8	1.87	0.51	3.13	△ 1.26	39
	16歳	3.30	1.19	3.33	△ 0.03	23	3.55	0.75	3.71	△ 0.16	25	3.06	1.64	2.94	0.12	18
	17歳	1.30	△ 1.95	2.85	△ 1.55	46	1.23	△ 1.49	3.32	△ 2.09	44	1.38	△ 2.42	2.38	△ 1.00	39

(注) 1 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。
 2 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)
 △ は、全国平均を上回るものを示す。

図11 痩身傾向児の年齢別出現率

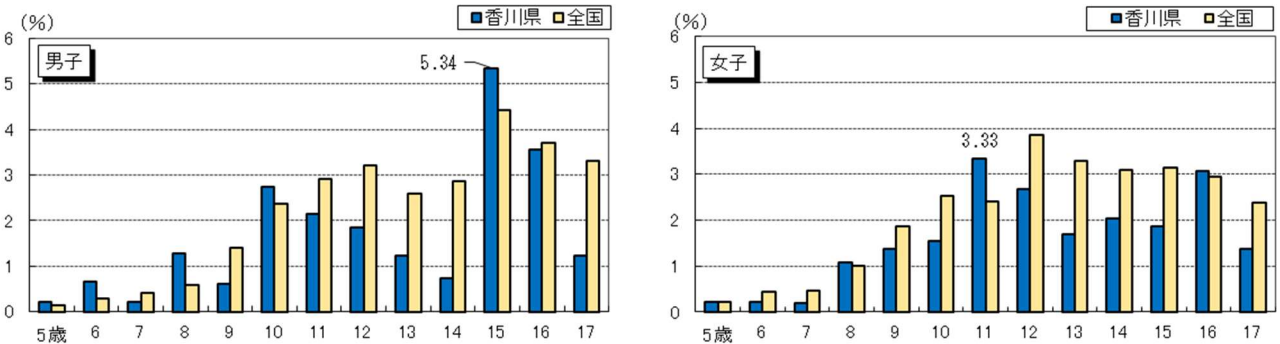
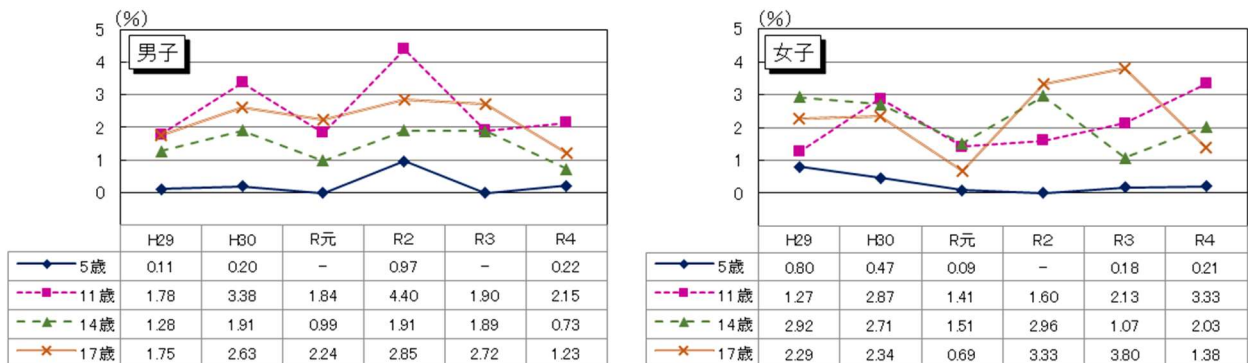


図12 痩身傾向児の出現率の推移



■ 健康状態調査

【主な疾病・異常被患率】

各年齢別の主な疾病・異常被患率をみると、「裸眼視力1.0未満」は、年齢が進むにつれて被患率がおおむね高くなる傾向がある。(表5)

表5 疾病・異常の被患率

(%)

区分	裸眼視力				眼の 疾病・ 異常	耳鼻咽喉			歯・口腔			アトピ ー性 皮膚炎	心電図 異常	蛋白 検出 の者	ぜん息	
	計	1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上	0.3未満		耳疾患	鼻・ 副鼻腔 疾患	口腔 咽喉頭 疾患・ 異常	むし歯(う歯)							
									計	処 置 完了者	未処置 歯の ある者					
幼稚園	5歳	31.2	21.7	9.1	0.3	2.4	6.0	6.6	-	26.4	10.2	16.2	0.3	…	1.2	1.1
小学 校	計	36.7	10.9	13.3	12.4	4.7	6.8	13.1	0.2	40.8	21.2	19.6	2.2	4.6	1.0	2.2
	6歳	20.2	12.0	6.6	1.6	3.9	9.3	13.4	0.3	34.6	13.6	21.0	2.6	4.6	0.8	1.9
	7歳	25.9	11.4	9.1	5.4	4.5	6.5	12.2	0.0	39.3	17.8	21.5	2.2	…	0.4	2.9
	8歳	36.6	12.3	13.5	10.8	4.9	7.2	15.0	0.1	46.3	24.3	22.0	2.2	…	0.6	2.2
	9歳	40.0	10.7	14.7	14.6	5.3	6.5	12.9	0.3	46.0	25.6	20.4	2.3	…	1.0	1.8
	10歳	44.9	10.6	16.8	17.5	5.0	6.4	13.7	0.4	44.1	24.7	19.3	1.9	…	1.1	2.3
中学 校	11歳	50.4	8.8	18.5	23.1	4.4	4.8	11.5	0.2	34.1	20.6	13.5	1.9	…	2.0	2.3
	計	63.2	10.8	20.8	31.6	4.1	6.1	8.0	0.2	32.0	21.3	10.7	3.7	5.2	2.6	2.1
	12歳	56.9	X	X	X	3.4	6.6	8.7	0.3	27.4	18.6	8.8	4.3	5.2	2.7	1.9
	13歳	67.2	10.8	19.4	37.0	4.8	5.9	7.3	0.2	31.8	22.4	9.5	3.0	…	2.8	2.4
高等 学校	14歳	65.3	X	X	X	4.0	5.8	7.9	0.1	36.6	22.9	13.7	3.8	…	2.2	2.2
	計	72.9	8.4	12.1	52.4	3.8	3.4	5.0	0.1	45.3	32.5	12.8	3.6	5.4	0.8	1.6
	15歳	76.0	10.5	12.7	52.8	3.4	4.0	5.2	0.1	38.5	27.5	11.0	3.5	5.4	1.0	1.6
	16歳	72.1	7.0	11.7	53.4	4.2	3.4	4.5	0.1	46.4	33.6	12.8	3.6	…	0.7	1.2
17歳	70.7	7.6	12.0	51.1	3.9	2.9	5.2	-	51.0	36.3	14.7	3.9	…	0.7	2.0	

- (注) 1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者)の割合の推定値を示したものである。
 2 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。
 3 「…」については、調査対象とならなかった場合である。「-」については、該当者がいない場合である。
 4 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下または疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。
 5 四捨五入の関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

【学校種別疾病・異常被患率】

幼稚園、中学校、高等学校で「裸眼視力1.0未満」が最も高くなっており、小学校では「むし歯(う歯)」が最も高くなっている。(表6)

表6 学校種別疾病・異常の被患率

順位	幼稚園		小学校		中学校		高等学校	
	区分	%	区分	%	区分	%	区分	%
1	裸眼視力1.0未満	31.2	むし歯(う歯)	40.8	裸眼視力1.0未満	63.2	裸眼視力1.0未満	72.9
2	むし歯(う歯)	26.4	裸眼視力1.0未満	36.7	むし歯(う歯)	32.0	むし歯(う歯)	45.3
3	鼻・副鼻腔疾患	6.6	鼻・副鼻腔疾患	13.1	歯垢の状態	8.9	心電図異常	5.4
4	耳疾患	6.0	歯・口腔(その他)	8.9	鼻・副鼻腔疾患	8.0	鼻・副鼻腔疾患	5.0
5	歯列・咬合	4.3	耳疾患	6.8	歯肉の状態	7.5	歯垢の状態	4.8

注1) 「むし歯(う歯)」は、処置完了者と未処置歯のある者の合計割合

◎ むし歯(う歯)

むし歯(う歯)のある者の割合は、幼稚園が26.4%、小学校が40.8%、中学校が32.0%、高等学校が45.3%となっており、高等学校で前年度より上昇しているが、幼稚園、小学校、中学校で前年度より低下している。(表7)

年齢別にみると、17歳が51.0%と最も高く、次いで16歳の46.4%、8歳の46.3%となっている。(表5、図13)

むし歯(う歯)のある者の割合の推移をみると、全ての学校種でおおむね低下傾向にある。(図14)

◎ 歯垢の状態・歯肉の状態

歯垢の状態(歯に相当の付着がある)の割合は、幼稚園、中学校、高等学校では、前年度より低下しているが、小学校で上昇している。歯肉の状態(専門医による診断が必要)の割合は、幼稚園、小学校、中学校では前年度より低下しているが、高等学校では上昇している。(表7、図15、図16)

図13 むし歯(う歯)のある者の割合

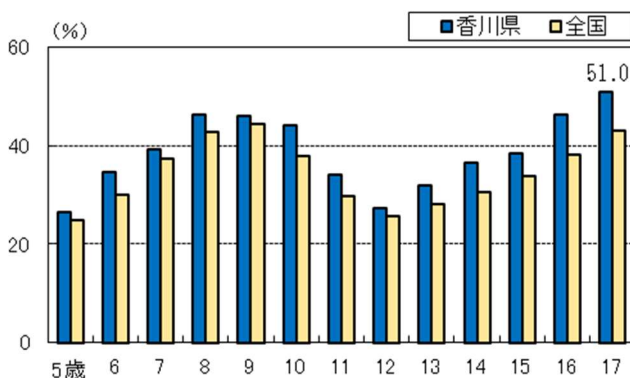


図14 むし歯(う歯)のある者の割合の推移

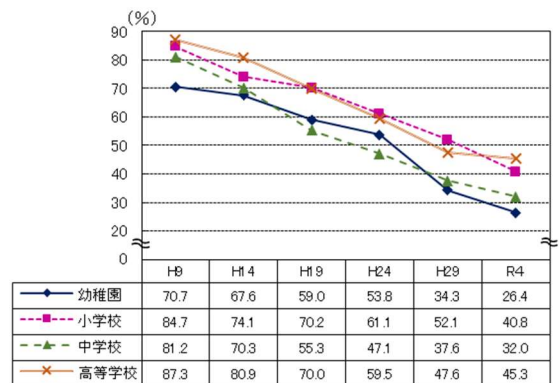


図15 歯垢の状態(歯に相当の付着がある)の割合の推移

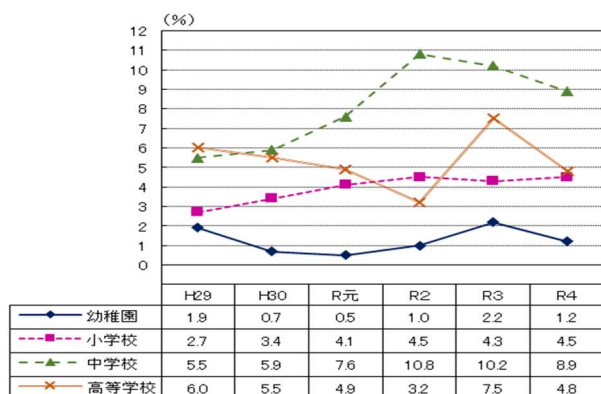
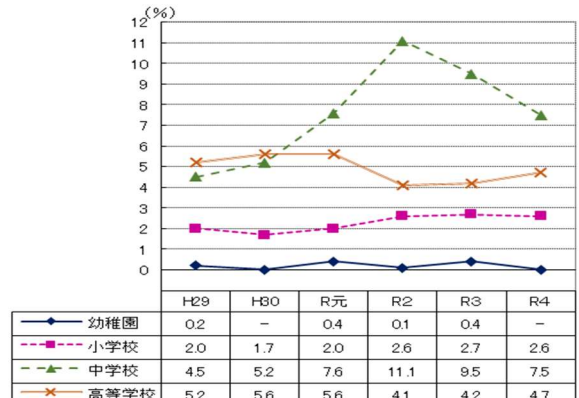


図16 歯肉の状態(専門医による診断が必要)の割合の推移



◎ 裸眼視力 1.0 未満の者

裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、幼稚園が 31.2%、小学校が 36.7%、中学校が 63.2%、高等学校は 72.9% となっており、幼稚園、中学校、高等学校で前年度より上昇している。(表 7)

年齢別にみると、15 歳で 76.0% と最も高くなっている。(表 5、図 17)

また、裸眼視力 1.0 未満の者の割合の推移をみると、高等学校を除いた全ての学校種で、おおむね上昇傾向にある。(図 18)

図 17 裸眼視力 1.0 未満の者の割合

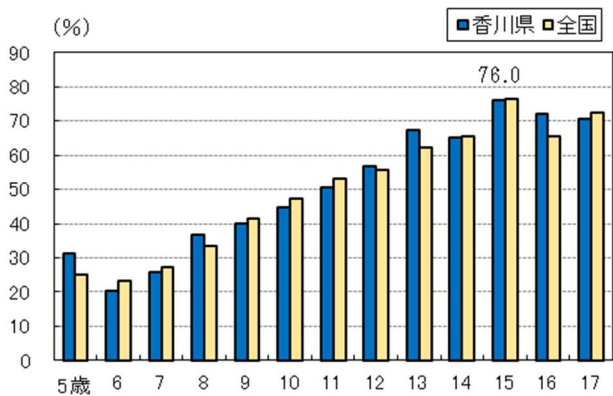
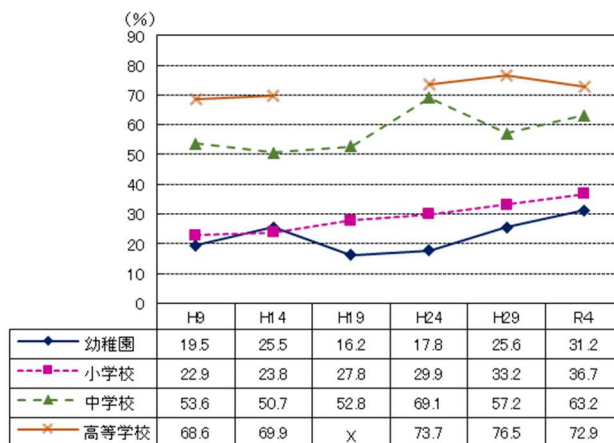


図 18 裸眼視力 1.0 未満の者の割合の推移



◎ 鼻・副鼻腔疾患

鼻・副鼻腔疾患の者の割合は、幼稚園が 6.6%、小学校が 13.1%、中学校が 8.0%、高等学校が 5.0% となっている。年齢別にみると 8 歳が 15.0% と最も高くなっている。前年度と比べると、幼稚園、小学校で上昇している。(表 5、表 7、図 19)

◎ アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎の者の割合は、幼稚園が 0.3%、小学校が 2.2%、中学校が 3.7%、高等学校が 3.6% となっている。年齢別にみると 12 歳が 4.3% と最も高くなっている。前年度と比べると、中学校、高等学校で上昇している。(表 5、表 7、図 20)

図 19 鼻・副鼻腔疾患の者の割合

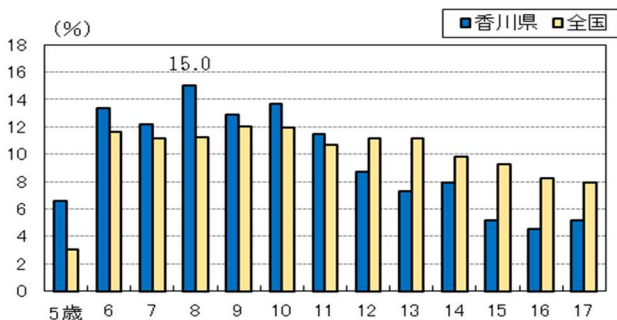
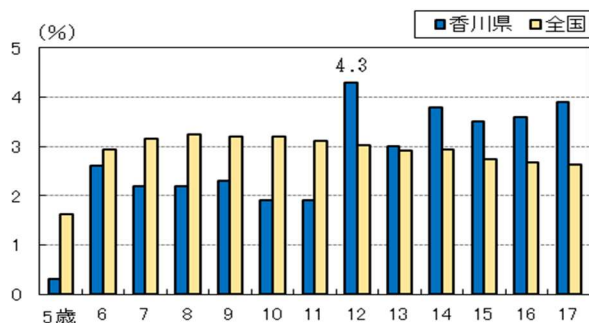


図 20 アトピー性皮膚炎の者の割合



【主な疾病・異常被患率の全国比較】

主な疾病・異常被患率について全国平均と比較すると、

「むし歯（う歯）のある者」と「歯垢の状態」は、全ての学校種で全国平均を上回っている。

「歯肉の状態」については、小学校、中学校、高等学校で全国平均を上回っている。

「裸眼視力1.0未満の者」については、幼稚園、中学校、高等学校で全国平均を上回っている。

「耳疾患」については、全ての学校種で全国平均を上回っている。

「アトピー性皮膚炎」については、中学校、高等学校で全国平均を上回っている。（いずれも表7、図21）

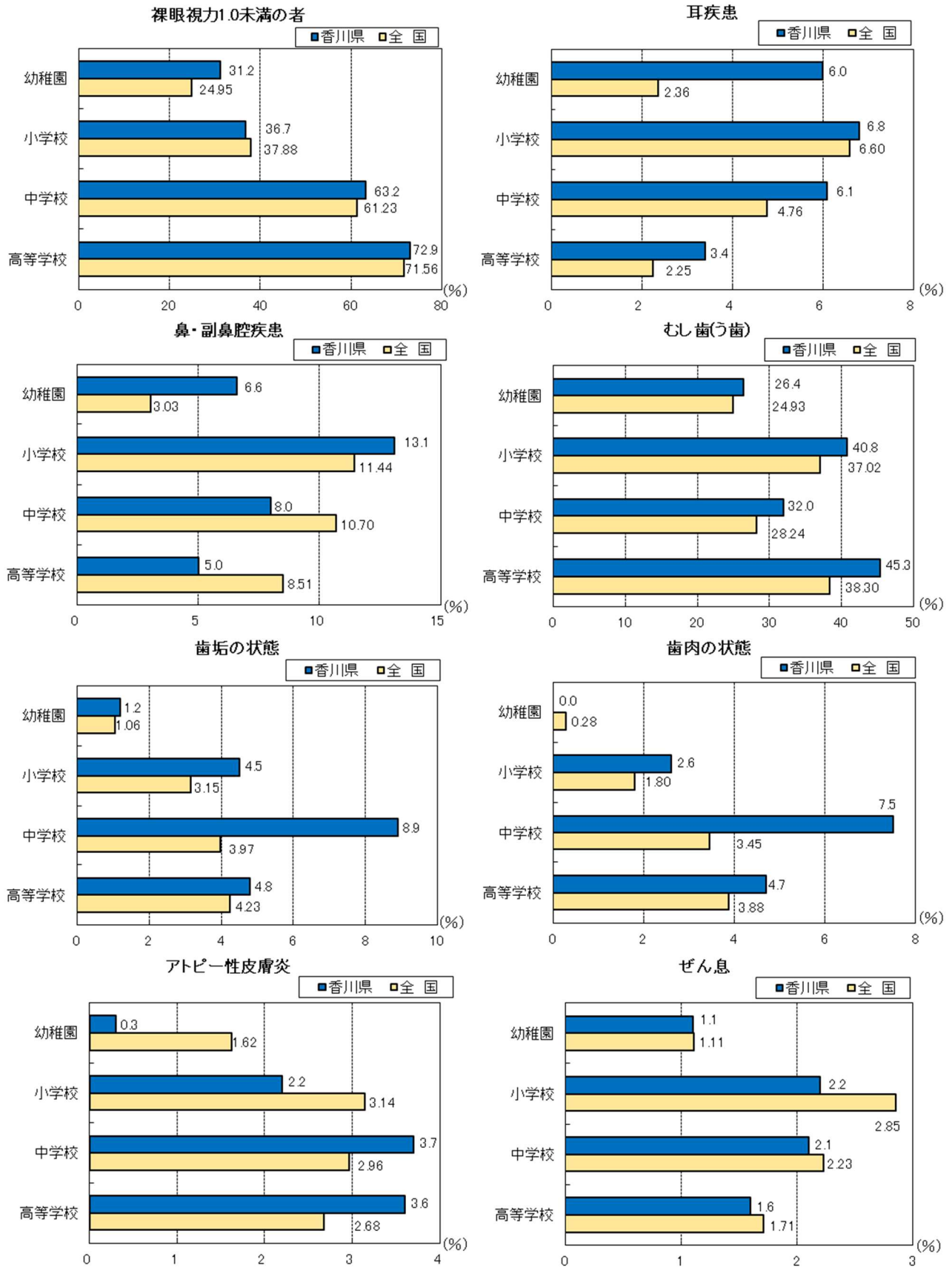
表7 主な疾病・異常被患率の全国比較

(%)

区分	裸眼視力 1.0未満 の者	眼の疾 病・異常	耳疾患	鼻・副鼻 腔疾患	むし歯(う歯)			歯・口腔		アトピー 性皮膚炎	心電図 異常	蛋白検出 の者	ぜん息	
					計	処置 完了者	未処置歯 のある者	歯垢の 状態	歯肉の 状態					
幼稚園	平成	28.2	2.1	3.3	4.8	34.6	11.8	22.8	0.7	-	1.7	...	1.0	1.1
	30年度	26.68	1.55	2.31	2.91	35.10	13.60	21.50	0.69	0.29	2.04	...	1.03	1.56
	令和	25.1	1.8	5.4	4.6	32.0	12.6	19.4	0.5	0.4	2.4	...	0.7	1.9
	元年度	26.06	1.92	2.57	3.21	31.16	12.00	19.15	0.92	0.19	2.31	...	1.02	1.83
	2年度	24.5	2.2	6.3	3.3	36.3	15.0	21.3	1.0	0.1	1.2	...	1.1	0.9
	3年度	29.4	2.3	4.5	4.2	27.1	8.8	18.2	2.2	0.4	1.2	...	1.7	0.8
	4年度	31.2	2.4	6.0	6.6	26.4	10.2	16.2	1.2	-	0.3	...	1.2	1.1
	国	24.95	1.27	2.36	3.03	24.93	10.05	14.88	1.06	0.28	1.62	...	0.87	1.11
	国	26.06	1.92	2.57	3.21	31.16	12.00	19.15	0.92	0.19	2.31	...	1.02	1.83
	国	26.06	1.92	2.57	3.21	31.16	12.00	19.15	0.92	0.19	2.31	...	1.02	1.83
小学校	平成	32.6	4.5	6.2	15.2	48.6	27.1	21.5	3.4	1.7	3.0	4.3	2.0	3.2
	30年度	34.10	5.70	6.47	13.04	45.30	23.07	22.23	3.11	1.91	3.40	2.40	0.80	3.51
	令和	35.1	4.8	6.8	14.6	46.5	24.9	21.5	4.1	2.0	2.9	4.0	2.9	2.2
	元年度	34.57	5.60	6.32	11.81	44.82	23.08	21.74	3.14	1.99	3.33	2.42	1.03	3.37
	2年度	37.0	4.4	7.0	10.6	41.9	24.2	17.7	4.5	2.6	3.2	4.6	2.7	3.0
	3年度	36.9	4.4	7.1	10.9	42.9	24.3	18.6	4.3	2.7	2.3	4.8	1.0	2.6
	4年度	36.7	4.7	6.8	13.1	40.8	21.2	19.6	4.5	2.6	2.2	4.6	1.0	2.2
	国	37.88	5.28	6.60	11.44	37.02	19.32	17.70	3.15	1.80	3.14	2.55	0.98	2.85
	国	37.88	5.28	6.60	11.44	37.02	19.32	17.70	3.15	1.80	3.14	2.55	0.98	2.85
	国	37.88	5.28	6.60	11.44	37.02	19.32	17.70	3.15	1.80	3.14	2.55	0.98	2.85
中学校	平成	57.0	3.0	4.2	7.7	38.4	24.0	14.4	5.9	5.2	2.3	4.5	3.3	2.3
	30年度	56.04	4.87	4.72	10.99	35.41	20.41	15.01	4.73	4.14	2.85	3.27	2.91	2.71
	令和	56.9	4.0	4.2	9.1	36.6	23.8	12.8	7.6	7.6	3.1	5.0	3.7	2.1
	元年度	57.47	5.38	4.71	12.10	34.00	19.78	14.22	4.50	4.21	2.87	3.27	3.35	2.60
	2年度	59.2	3.0	4.2	5.2	37.7	25.1	12.6	10.8	11.1	2.8	3.9	4.0	2.0
	3年度	58.29	4.66	5.01	10.21	32.16	18.75	13.40	4.64	3.91	2.86	3.33	3.25	2.59
	4年度	60.4	3.7	4.8	8.0	33.3	20.4	12.9	10.2	9.5	2.6	4.5	2.3	1.9
	国	60.66	4.84	4.89	10.06	30.38	18.04	12.33	4.61	4.14	2.95	3.07	2.80	2.31
	国	60.66	4.84	4.89	10.06	30.38	18.04	12.33	4.61	4.14	2.95	3.07	2.80	2.31
	国	60.66	4.84	4.89	10.06	30.38	18.04	12.33	4.61	4.14	2.95	3.07	2.80	2.31
高等学校	平成	77.9	3.1	3.9	10.7	45.0	30.8	14.1	5.5	5.6	2.4	6.3	0.8	1.9
	30年度	67.23	3.94	2.45	9.85	45.36	27.11	18.25	4.57	4.26	2.58	3.34	2.94	1.78
	令和	X	4.3	5.7	14.0	45.6	32.0	13.6	4.9	5.6	2.4	5.3	0.7	1.7
	元年度	67.64	3.69	2.87	9.92	43.68	26.36	17.33	4.76	4.35	2.44	3.27	3.40	1.79
	2年度	X	5.8	4.9	8.3	40.5	29.2	11.3	3.2	4.1	3.3	6.0	1.2	1.5
	3年度	70.6	5.3	3.2	7.5	39.4	26.5	12.9	7.5	4.2	2.2	5.2	0.8	1.3
	4年度	72.9	3.8	3.4	5.0	45.3	32.5	12.8	4.8	4.7	3.6	5.4	0.8	1.6
	国	71.56	3.58	2.25	8.51	38.30	23.79	14.51	4.23	3.88	2.68	3.03	2.83	1.71

(注) 1 この表は、疾病・異常該当者（疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者）の割合の推定値を示したものである。
 2 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。
 3 「…」については、調査対象とならなかった場合である。「-」については、該当者がいない場合である。
 4 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下または疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。
 5 四捨五入の関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

図21 全国との比較



<肥満・痩身傾向児の算出方法について>

平成17年度まで、性別・年齢別に身長別平均体重を求め、その平均体重の120%以上の者を肥満傾向児、80%以下の者を痩身傾向児としていたが、平成18年度から、性別・年齢別、身長別標準体重から肥満度（過体重度）を算出し、肥満度が+20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児としている。

肥満度の算出方法は次のとおりである。

$$\text{肥満度(過体重度)} = [\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)}] / \text{身長別標準体重(kg)} \times 100(\%)$$

$$\text{※ 身長別標準体重(kg)} = a \times \text{実測身長(cm)} - b$$

年齢	係数	男		女	
		a	b	a	b
幼稚園	5	0.386	23.699	0.377	22.750
	6	0.461	32.382	0.458	32.079
	7	0.513	38.878	0.508	38.367
小学校	8	0.592	48.804	0.561	45.006
	9	0.687	61.390	0.652	56.992
	10	0.752	70.461	0.730	68.091
	11	0.782	75.106	0.803	78.846
中学校	12	0.783	75.642	0.796	76.934
	13	0.815	81.348	0.655	54.234
	14	0.832	83.695	0.594	43.264
高等学校	15	0.766	70.989	0.560	37.002
	16	0.656	51.822	0.578	39.057
	17	0.672	53.642	0.598	42.339

出典：公益財団法人日本学校保健会「児童生徒の健康診断マニュアル（平成27年度改訂版）」

（参考）令和4年度調査の平均身長（全国）の場合の標準体重

年齢	男			女		
	平均身長 (cm)	平均身長時の 標準体重 (kg)	平均体重 (kg)	平均身長 (cm)	平均身長時の 標準体重 (kg)	平均体重 (kg)
5	111.1	19.2	19.3	110.2	18.8	19.0
6	117.0	21.6	21.8	116.0	21.0	21.3
7	122.9	24.2	24.6	122.0	23.6	24.0
8	128.5	27.3	28.0	128.1	26.9	27.3
9	133.9	30.6	31.5	134.5	30.7	31.1
10	139.7	34.6	35.7	141.4	35.1	35.5
11	146.1	39.1	40.0	147.9	39.9	40.5
12	154.0	44.9	45.7	152.2	44.2	44.5
13	160.9	49.8	50.6	154.9	47.2	47.7
14	165.8	54.3	55.0	156.5	49.7	49.9
15	168.6	58.2	59.1	157.2	51.0	51.2
16	169.9	59.6	60.7	157.7	52.1	52.1
17	170.7	61.1	62.5	158.0	52.1	52.5

<新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応>

令和4年度については、令和2・3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日に実施される健康診断について当該年度末までに実施することとなったため、学校保健統計調査においても、調査期間を年度末まで延長した。

このため、本集計結果は成長の著しい時期において、測定時期を異にしたデータを集計したものとなっており、過去の数値と単純比較することはできない。

（なお、香川県においては「身体計測」を内容とする「発育状態調査」の実施については、調査指定校の内、9割以上の学校が、本来の実施時期である6月30日までに実施した。）